

1. 科目名 (単位数)	日本語教授法Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	EJJP3154						
2. 授業担当教員	山口 雅代								
4. 授業形態	講義、討論、発表、演習	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教育概論」「日本語教授法Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。								
7. 講義概要	<p>日本語教授法Ⅰで培った日本語の基礎知識を踏まえて、日本語教育においてどのような教育方法が望ましいかを追求していく授業である。さまざまな教授法の長所を生かし、より良い教授法を模索していくことが重要である。</p> <p>日本語教育の現状の分析に基づき、言語教育理論の成果も取り入れて、教授法の理論とその実践方法を学習していく。また、模擬授業はグループごとに課題を行う。その後フィードバックや討論を行い、各自がレポートにまとめて提出する。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本語教師の役割と、日本語を教えることの目的や意義を理解できる。</li> <li>初級と中上級の教え方の違いについて理解できる。</li> <li>中上級の聴解・会話の教え方について理解し指導できる。</li> <li>中上級の読解の教え方について理解し指導できる。</li> </ol>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業時に配布したワークシートは、授業後に提出する。</p> <p>課題は、授業時に告知した期日までに提出する。</p> <p>レポート：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初級と中上級の違いと、中上級会話を教える工夫について</li> <li>中上級読解を教える工夫について</li> </ul>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】高見沢孟著『新・はじめての日本語教育2』アスク、2016。</p> <p>【参考書】</p> <p>高見沢孟監『新・はじめての日本語教育1』アスク、2016。</p> <p>小林ミナ著『教授法37』アルク、2010。</p> <p>森篤嗣編『超基礎・日本語教育』くろしお出版、2019。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>教え方についての理論が理解できたか。</li> <li>教え方について指導実践できたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への出席、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への出席・受講態度</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験(レポート)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 課題・発表</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>			1 授業への出席・受講態度	総合点の30%	2 期末試験(レポート)	総合点の30%	3 課題・発表	総合点の40%
1 授業への出席・受講態度	総合点の30%								
2 期末試験(レポート)	総合点の30%								
3 課題・発表	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>授業には誠実に参加し、お互いの力量と自らの目標を達成するために積極的に研究・討論に取り組むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の私語は厳禁とする。</li> <li>質問・意見等は授業中に解決するよう努力すること。</li> <li>授業中の携帯電話・メールや私語、飲食は絶対に慎むこと。</li> </ul>								
13. オフィスアワー	授業の中で通知する。(事前に要望があれば、随時設定する。)								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	授業概要確認 第5章 中上級の教え方(1) 会話/聴解 1. 中級レベルの教育: 初級・中級・上級について	事前学習	テキスト p.97 を読み、初級と中級、上級の違いは何か、考える。						
		事後学習	初級、中級、上級の違いについてまとめる。						
第2回	1. 中級レベルの教育 I 中級学習者の教育でかんがえるべきこと II 中級レベルの悩み	事前学習	pp.98~101 を読み理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第3回	2. 中上級レベルの会話指導の目標 3. 中上級レベルの会話指導の内容	事前学習	pp.102~103 を読み理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第4回	4. コミュニケーション能力を育てる指導	事前学習	pp.104~107 を読み理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第5回	5. テレビドラマの指導	事前学習	pp.108~111 を読み理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第6回	6. ニュース番組の指導 7. スピーチの指導	事前学習	pp.112~114 を読み理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第7回	発表のため、会話・聴解教材についてグループで検討する。	事前学習	会話教材を選び、グループで担当を決める。						
		事後学習	発表の担当を決める。						
第8回	会話指導のグループ発表	事前学習	発表について確認する。						
		事後学習	意見交換・ディスカッション後まとめる。						
第9回	聴解指導のグループ発表	事前学習	発表について確認する。						
		事後学習	意見交換・ディスカッション後まとめる。						
第10回	中上級の読解教材や教え方 1. 読本を使った読解教育	事前学習	pp.116~117 を読み理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						

第11回	2. 新聞を使った読解教育	事前学習	pp.118～124を読み理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第12回	中上級の読解指導についてグループで検討する。	事前学習	読解教材を選び、グループで担当を決める。
		事後学習	発表の担当を決める。
第13回	読本を使った読解指導のグループ発表	事前学習	発表について確認する。
		事後学習	意見交換・ディスカッション後まとめる。
第14回	新聞を使った読解指導のグループ発表	事前学習	発表について確認する。
		事後学習	意見交換・ディスカッション後まとめる。
第15回	中上級の教え方の特徴についてまとめとフィードバック	事前学習	レポートを作成する。
		事後学習	中上級の教え方の特徴についてのまとめを確認する。